

株主のみなさまへ

第66期 営業のご報告 (第2四半期)

2011年4月1日～2011年9月30日

HOUSE FOODS REPORT



おいしさとやすらぎを

 **ハウス食品**



企業理念

食を通じて、
家庭の幸せに役立つ

コーポレートメッセージ

おいしさやすらぎを

株主のみなさまには日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
2012年3月期第2四半期の事業の概況をご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

内食回帰傾向により主力製品が堅調だったものの、ミネラルウォーター事業売却の影響もあり、売上高は微減収となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響が残るなか、復興に向けた動きが広がりつつあるものの、原発トラブルに端を発した電力供給問題に加え、世界的な景気減速や記録的な円高もあり、先行き不透明な状況が依然続いております。

当社グループは、このような環境下で、資材価格の高騰によるコスト圧迫と大震災の影響による需要の減少という2つの重たい与件を勘案し、シビアな計画で当期に臨みました。結果、資材価格の高騰につきましては想定通りの進捗になっておりますが、大震災の影響に関しましては、被災エリアの直接的影響や全国的な自粛ムードの高まりといったアゲインストの要因もある一方で、節約志向に伴う内食回帰傾向等のフォロー要因も発生し、製品によって明暗の分かれる形になりました。

売上面におきましては、ミネラルウォーター事業が前年6月末で販売終了したこともあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,093億93百万円、前年同期比0.2%の微減収となりました。

原材料価格が上昇しましたものの、のれん償却負担の減少等の結果、営業利益、経常利益、四半期純利益は増益となりました。

利益面では、原材料価格が上昇しましたが、ハウスウェルネスフーズ(株)取得時ののれん償却負担が減少したことに加え、子会社の収益改善や継続的なコストダウン活動に取り組んだ結果、営業利益は79億87百万円、前年同期比36.7%の増益、経常利益は83億68百万円、前年同期比34.1%の増益、四半期純利益は48億2百万円、前年同期比55.9%の増益となりました。

中間配当は、1株当たり2円増配の13円とさせていただき、年間では1株当たり6円増配の28円を予定しております。

当社グループは、株主のみなさまへの利益還元を経営上の最重要課題の一つとして位置付け、連結配当性向30%以上を基準とした安定的な配当を継続することを基本方針としております。

当期につきましては、業績予想が当初の予想を上回る見込みとなりましたので、配当性向等を勘案し、2012年3月期の中間配当金は、前期から2円増配の1株につき13円とし、期末配当金につきましては、1株につき4円増配の15円とさせていただく予定にしております。

この結果、1株当たり年間配当予想は、前期から6円増配の1株につき28円となる予定であります。

不透明な経営環境が続きますが、引き続き通期も増益をめざしてまいります。

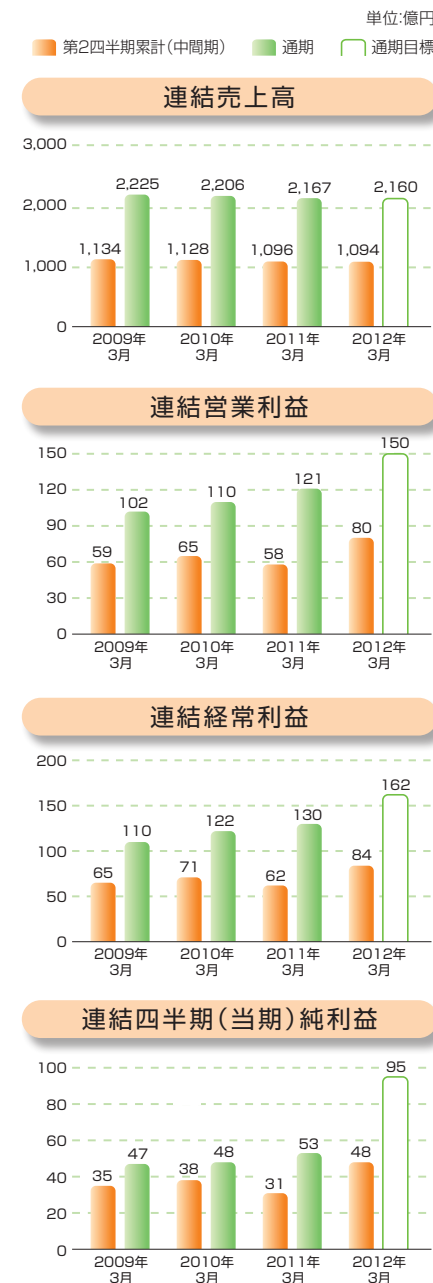
2012年3月期の見通しでございますが、震災後の混乱は次第に落ち着きを取り戻すものの、お客さまの節約志向や商品に対する厳しい選別志向は続くものと予想されます。また、前期末の震災特需の反動に加え、終売した一部製品の影響もあり、連結売上高は2,160億円(前期比0.3%減)となる見通しです。

一方利益面につきましては、原材料価格の高騰や売上同様に前期末の震災特需の反動が予想されますが、のれん償却負担の減額効果が大きく、連結営業利益は150億円(前期比24.3%増)、連結経常利益は162億円(前期比24.3%増)、連結当期純利益は95億円(前期比80.9%増)を見込んでおります。

何卒株主のみなさまにおかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2011年12月

取締役社長 浦上 博史



香辛・調味加工食品事業

香辛・調味加工食品事業は、震災後の内食回帰傾向のなか、主力のルウカレー、レトルトカレー製品が売上を着実に伸ばしたことに加え、取引先開拓により業務用製品が好調に推移しました。また、ポン酢をジュレ状にするという新価値製品「のっけてジュレ」や、加熱調理が不要な「夏のカレー」「温めずにおいしいカレー」のほか、夏場に発売した「フローズンブルーチェ」等の新製品が寄与したこともあり、売上高は640億65百万円、前年同期比2.8%の増収を確保しました。

一方利益面につきましては、収益基盤の強い製品群へ注力し、継続的なコストダウン活動に努めたものの、原材料価格高騰の影響を大きく受けた結果、営業利益は50億58百万円、前年同期比2.5%の減益を余儀なくされました。



健康食品事業

ハウス食品で行う健康食品事業は、「ウコンの力」シリーズが震災による自粛ムードで軟調に推移するなか、需要期の夏場に向けて、味覚やパッケージデザインを変更して巻き返しを図りましたが、前年同期実績を確保することはできませんでした。また、第2四半期末の9月下旬に、唐辛子の健康成分であるカプサイシンを配合した「力」シリーズの新製品「唐辛子の力」を発売しました。

グループ会社のハウスウェルネスフーズ(株)におきましては、自社ブランド製品は堅調に推移しましたが、受注生産品が採算改善の取組を行った結果、減収となり、健康食品事業トータルの売上高は256億15百万円、前年同期比4.7%の減収となりました。

一方利益面につきましては、ハウスウェルネスフーズ(株)取得時ののれん償却負担が大きく減少したことから営業利益は18億98百万円と、前年同期比237.9%の増益となりました。



海外事業

※現地通貨ベース

米国の豆腐を主力とした大豆事業は、販売ルートの拡大に取り組んだこと等から売上は好調に推移したものの、大豆価格の高騰により減益となりました。なお、現在の厳しい大豆価格動向に対応するため、第2四半期末の6月に主要製品の価格改定を行っております。

中国の加工食品事業は、レトルト製品が目標を下回りましたが、ルウ製品では家庭用製品の店頭での販売促進に注力したことや、業務用製品の取扱ルート拡大に努めた結果、全体では増収となり、損益面でも黒字化には至らないものの改善傾向にあります。

カレーレストラン事業は、中国・台湾・韓国などのアジアにおきまして、全般的に高いご支持をいただき、売上・利益とも伸長いたしました。

以上の結果、円ベースでは、海外事業の売上高は60億88百万円、前年同期比11.5%の増収、営業利益は4億3百万円、前年同期比37.7%の増益となりました。



運送事業他

グループ会社のハウス物流サービス(株)の運送・倉庫業は、ミネラルウォーター事業譲渡に伴い、当社製品の受託量が減少しましたが、グループ外での物流業務の受託拡大に取り組みましたことから、売上・利益とも堅調に推移しました。

しかしながら、当社のミネラルウォーター事業を当セグメントに含めていたことから昨年の事業譲渡の影響を受け、運送事業他の売上高は136億24百万円、前年同期比8.6%の減収、営業利益は6億1百万円(前年同期は営業損失2億18百万円)となりました。



○事業セグメント別 連結売上高・連結営業利益 単位:百万円

事業セグメント	連結売上高	連結営業利益
香辛・調味加工食品事業	64,065 (102.8)	5,058 (97.5)
健康食品事業	25,615 (95.3)	1,898 (337.9)
海外事業	6,088 (111.5)	403 (137.7)
運送事業他	13,624 (91.4)	601 (△218百万円)※

()内は前年同期比%
※前年同期実績

ハウスウェルネスフーズ 存在感を高めハウス食品グループの健康食品事業に貢献



ハウスウェルネスフーズ(株)
代表取締役社長

菊池 敏朗

ハウス食品の健康食品事業の基盤強化を図る目的でグループ会社化して、5年が経過したハウスウェルネスフーズ 菊池社長に聞きました。

インタビュー

5年間を振り返って

前身の武田食品のビタミンに関する技術と豊富な知見に、ハウス食品の開発力・マーケティング力をうまく融合させ、新しい価値ある健康食品をお届けできる体制の整備に努めてきました。その結果が、少しずつ実を結びつつあります。ハウスウェルネスフーズの基幹商品である“C1000”ブランドにおいても、従来品に加え、新しい価値を付加した製品を多く発売できたのもその一つの成果とっております。

そして、ハウス食品との協力体制も着実に推し進めています。管理部門における一元化を進め、営業部門では、量販店イベント企画のタイアップや、共同企画による販売促進活動も実施しております。また、開発部門では、当社の開発担当がハウス食品に出向し、双方の強みを活かし、製品開発につなげております。

コアの飲料事業で新しい価値を創出

コアである飲料事業では、ビタミンCを基点に「ビタミンレモン」「レモンウォーター」を基幹商品として展開してきましたが、近年では「1日分のビタミン」「リフレッシュタイム」「ビタミンレモンコラーゲン」など、更に機能性成分を付加した新製品を投入し、お客さまの幅広いご要望にお応えしてきました。お客さまの健康に対する想いは、今後ますます強く、そして広がっていくものと思います。“C1000”を中心に、



“C1000”シリーズのCMに多部未華子さんを起用

お客さまの健康のお役に立てる製品をこれからもお届けしていきたいと考えております。

さらなる飛躍に向けて

主力の飲料事業に加え、将来の成長への仕込みとして、「栄養強化米事業」「免疫事業」「海外事業」の3事業に注力しています。

栄養強化米はお米に混ぜて炊くだけでビタミンやカルシウム、鉄分などの栄養素を毎日の食事のなかで簡単に摂取できるため、その有用性・利便性をお客さまに丁寧にお伝えすること



家庭用栄養強化米製品シリーズ

とで、成長が期待できる分野と感じております。そのため、昨年10月に専門の営業部隊を設置し、主に栄養士さんが栄養管理されている学校給食・病院・食堂・介護施設の開拓を中心に地道な提案活動を進めております。

免疫事業におきましては、日本免疫学会でインフルエンザウイルスの感染予防に効果があることを発表した“乳酸菌加熱菌体(HK L-137)”に期待しています。免疫機能を高める効果があることから、歯科医を窓口としたサプリメントの販売および飼料製品として展開しています。

最後に海外事業では、現地企業と提携して、ビタミンC1000mg配合飲料をインドネシアで、マルチビタミンのサプリメントを韓国で展開しています。今後は、ハウス食品との連携を強化し、日本で永年培ってきた技術に裏付けされた健康食品を世界のみなさまにお届けしていきたいと考えております。

当社の企業理念であります『明日への健康な暮らしに奉仕する』ためには、まずは、「社員が元気、製品が元気、会社が元気」でありたいと思います。C1000 20周年で立ち上げた「げんきいろプロジェクト」を遂行し、お客さまのお役に立てる、「げんきいろ」いっぱいの会社を目指してまいります。

【会社概要】

ハウスウェルネスフーズ株式会社

- 本社所在地 兵庫県伊丹市
- 事業内容 食品、飲料、酒類、菓子、調味料、食品添加物、医薬部外品の製造および販売



“C1000”げんきいろプロジェクト

“C1000”が誕生して20周年。より多くのお客さまに“C1000”を飲んで、元気になっていただきたいという願いとイメージカラーの黄色を合わせて“げんきいろプロジェクト”と名付け、全国のイベントや製品サンプリングを通じて世の中に“げんきいろ”を広げる活動を展開しております。



みちのくYOSAKOIまつりで元気に演舞する「C1000げんきいろ隊」

のっけてジュレ

いろいろな素材・料理にのせて、からめて食べられる
ジュレタイプのぽん酢です。

のせたり、からめたりするだけで、いろいろな料理を“さっぱりした味わい”で
食べることができる、ジュレ(ゼリー)タイプのぽん酢です。「素材にしみこま
ず、揚げものがサクサク食べられる」「料理の見た目が華やかになる」などの
特長があり、新しい食感のぽん酢をお楽しみいただけます。



※写真は調理例です。



ぽん酢

柚子こしょう
ぽん酢

こんな料理にのせて

とんかつ、から揚げ、サラダ、冷奴、
カルパッチョ、生春巻き、ローストビーフ、
その他和え物料理など

唐辛子の力

独自の技術で唐辛子の辛味・刺激をカットした
ダイエットサポートドリンクです。

唐辛子の辛味成分“カプサイシン”を独自の技術で包み込み、すっきり飲み
やすいレモン風味に仕立てました。お客さまのウォーキングシーンに特化し
た、ダイエットサポートドリンクです。

「休日や通勤時に、歩いて体脂肪を燃焼させたい!」「どうせ歩くなら、効率的
に脂肪を燃焼させたい!」というお客さまのウォーキングをサポートします。



※無果汁

歩いて
体脂肪を燃焼

おいしくて
辛い

カプサイシン
0.2mg配合

『ウコンの力』がより飲みやすくなって新登場 ～ウコンといえばハウス。ハウスといえば、「ウコンの力」!

「ウコンの力」は、健康に役立つといわれているウコ
ンの色素成分クルクミンを配合した機能性飲料として
2004年の発売以降、お客さまから大変ご好評いただ
いております。

コンビニエンスストアを中心に販売を開始し、量販
店、ドラッグストアや、最近では居酒屋でもお買い求め
いただけます。また、販売促進活動では、コマーシャ
ルのほか、野外広告や交通広告なども積極的に展開
してきました。

その「ウコンの力」が、本年6月にフレッシュアップ!
ドリンクタイプは、甘味と酸味のバランスを改良し、



後味のキレを向上させるなど、さらにスッキリ飲みやす
くいたしました。顆粒タイプは、飲みやすさを改善し携
帯に便利な形状で新登場いたしました。

今までの 様々な 広告活動

福岡市博多区中洲の
屋外広告



銀座の街を走る“ウコントラック”



電車車体広告

『C1000リフレッシュタイム』がフレッシュアップ

ハウスウェルネスフーズ“C1000”ブランドのカロリーオフ飲料
「C1000リフレッシュタイム」が、本年9月にフレッシュアップ。

果汁含量をアップし、さらにしっかりしたグレープフルーツ味に改良し
たほか、爽やかさを強調し、店頭で目立つパッケージに変更しました。

※同シリーズの「C1000リフレッシュタイムスパークリング」も新パッケージに変更
※1本にビタミンA450μg、ビタミンC1000mg、ビタミンE12mg、ポリフェノール20mgを配合



ラインナップ
強化

カロリーゼロの
炭酸飲料も
新発売

財務諸表（連結）

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

単位:百万円

	当第2四半期末 (2011年9月30日現在)	前 期 末 (2011年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	101,690	99,644
固定資産	136,134	129,166
有形固定資産	53,797	53,860
無形固定資産	3,477	4,562
投資その他の資産	78,860	70,745
資産合計	237,824	228,810

負債の部		
流動負債	40,687	37,755
固定負債	10,577	9,757
負債合計	51,265	47,512

純資産の部		
株主資本	183,462	179,841
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,868	23,868
利益剰余金	149,648	146,026
自己株式	△ 3	△ 2
その他の包括利益累計額	2,625	1,080
その他有価証券評価差額金	4,429	2,836
為替換算調整勘定	△ 1,803	△ 1,756
少数株主持分	473	377
純資産合計	186,560	181,298
負債純資産合計	237,824	228,810

連結損益計算書

単位:百万円

	当第2四半期 累 計 期 間 (2011年4月～ 2011年9月)	前第2四半期 累 計 期 間 (2010年4月～ 2010年9月)
売上高	109,393	109,573
売上原価	58,750	58,783
売上総利益	50,644	50,790
販売費及び一般管理費	42,657	44,948
営業利益	7,987	5,842
営業外収益	711	696
営業外費用	330	296
経常利益	8,368	6,241
特別利益	7	151
特別損失	706	739
税金等調整前四半期純利益	7,669	5,654
法人税等	2,876	2,607
少数株主損失(△)	△ 9	△ 33
四半期純利益	4,802	3,080

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	当第2四半期 累 計 期 間 (2011年4月～ 2011年9月)	前第2四半期 累 計 期 間 (2010年4月～ 2010年9月)
営業活動によるキャッシュ・フロー (うち減価償却費)	9,643 (2,574)	7,953 (2,782)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,353	△ 5,108
財務活動によるキャッシュ・フロー (うち配当金の支払額)	△ 1,206 (△ 1,178)	△ 1,286 (△ 1,205)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 140	△ 216
現金及び現金同等物の増減額	△ 55	1,342
現金及び現金同等物の期首残高	46,091	44,570
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,036	45,913

財務諸表（単独）

Non-Consolidated Financial Statements

貸借対照表

単位:百万円

	当第2四半期末 (2011年9月30日現在)	前 期 末 (2011年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	87,209	87,376
固定資産	151,011	143,076
有形固定資産	30,268	30,322
無形固定資産	1,495	1,826
投資その他の資産	119,248	110,928
資産合計	238,220	230,452

負債の部		
流動負債	40,028	38,085
固定負債	4,404	3,411
負債合計	44,433	41,495

純資産の部		
株主資本	189,270	186,025
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,815	23,815
利益剰余金	155,509	152,263
自己株式	△ 3	△ 2
評価・換算差額等	4,517	2,932
その他有価証券評価差額金	4,517	2,932
純資産合計	193,787	188,957
負債純資産合計	238,220	230,452

損益計算書

単位:百万円

	当第2四半期 累 計 期 間 (2011年4月～ 2011年9月)	前第2四半期 累 計 期 間 (2010年4月～ 2010年9月)
売上高	75,187	75,933
売上原価	36,519	36,186
売上総利益	38,668	39,747
販売費及び一般管理費	32,825	33,920
営業利益	5,842	5,828
営業外収益	2,062	1,561
営業外費用	359	231
経常利益	7,545	7,158
特別利益	1	95
特別損失	627	555
税引前四半期純利益	6,919	6,697
法人税、住民税及び事業税	2,499	2,525
四半期純利益	4,420	4,172

・脳科学者 茂木健一郎さん カレーを熱く語る ～カレーは脳を刺激する～

7月26日に開催された“カレー再発見フォーラム”に、脳科学者 茂木健一郎さんをお招きし、「脳科学からみたカレーのチカラ」をテーマに講演していただきました。

フォーラムでは、脳とカレーに関する実験を行った結果、カレーに含まれるスパイスの香りを嗅ぐと、集中力・効率性・統率力を司る脳部位が活性化することが導き出されたと紹介されました。また、脳で香りを処理する部位は記憶の部位に近いなど、香りと記憶の結びつきについても示唆されました。

今後もこのフォーラムでは、カレーの底知れぬ力を科学的な視点で追求していきます。



講演する茂木健一郎さん

・タイに子会社『ハウスオソサファフーズ(株)』設立

東南アジアは、人口規模の大きさに加え、人口構成も相対的に若く、今後の成長が大いに期待できる魅力的なマーケットです。

なかでも、先行しているタイにおいて、加工食品や健康飲料の事業展開を図るため、本年7月、120年の歴史を持つ現地法人オソサファ社との合併で『ハウスオソサファフーズ(株)』を設立いたしました。

オソサファ社は、医薬品・機能性飲料が主力カテゴリーの大手消費財メーカーで、タイ全土にきめ細かい

販売網を持っております。

『ハウスオソサファフーズ(株)』では、これまでハウス食品グループが日本で培ってきた技術力・品質力と、オソサファ社の販売力および両社のマーケティング力を結集し、タイのお客さまに「手軽に健康を実現できる食品、飲料」を提供し、食生活に貢献してまいります。



食生活に賢い工夫を ～「なるほどレシピ」を会社ホームページに公開～

当社では、お客さまの生活視点に立ち、食材選びから調理や片付けに至るまで、知恵や情報を上手に使う「ムリ・ムダを省き賢く工夫すること」を『スマートクッキング』と呼び、お客さまに情報発信しております。

第1弾として、本年6月より、ホームページ内の特設サイトに、調理時の工夫をまとめた「なるほどレシピ」を公開しました。「なるほどレシピ5つのポイント」を起

点に、約200のレシピが検索できます。

少ない具材で何か作りたい、料理の内容だけでなく、夏場は暑いので火を使いたくない、洗い物を減らしたいといった台所でのさまざまなご要望にお応えしております。携帯電話やスマートフォンに対応し、より多くのお客さまにとって身近なレシピをめざしています。

なるほどレシピ5つのポイント

- 1 おいしいね! まで20分レシピ
- 2 「フライパン1つ」でできるレシピ
- 3 レトルト・缶詰・乾物で「即」ごはんレシピ
- 4 食材3品で1品完成! レシピ
- 5 「電気も火も使わない」エコレシピ



食材3品で1品完成! レシピ
「しゃりしゃりシチュー」



「フライパン1つ」でできるレシピ
「クリームチンジャオ」

※材料や作り方など詳細につきましては、当社ホームページ内の「なるほどレシピ」をご覧ください。

なるほどレシピ

検索

携帯電話やスマートフォンでもご覧になれます。

会社概要

(2011年9月30日現在)

- ◆創業年月日 1913年11月11日
- ◆設立年月日 1947年6月7日
- ◆資本金 9,948,323,523円
- ◆事業内容 食品製造加工ならびに販売、その他
- ◆従業員数 2,161名
- ◆所在地 大阪本社／〒577-8520
大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号
TEL 06-6788-1231 (大代表)
東京本社／〒102-8560
東京都千代田区紀尾井町6番3号
TEL 03-3264-1231 (大代表)

役員

(2011年9月30日現在)

取締役会長	小瀬 防	常務執行役員	野村 孝志
			田口 昌男
取締役社長	浦上 博史		藤村 浩史
			工東 正彦
取締役専務執行役員	松本 恵司	執行役員	山口 守世
	井上 始		一柳 和文
	広浦 康勝		青山 竜二
取締役常務執行役員	溝渕 寛		坂元 竜太
	藤井 豊明		西田 弘一
	加藤 浩		柴原 章
取締役	山本 邦克		小池 敬文
			高木 一雄
監査役	吉村 光央		
	伊藤 研三		
	由本 泰正		
	治郎丸 清志		
	三浦 勁		

グループ会社

(2011年9月30日現在)

連結子会社 (18社)

●国内会社 ●海外会社

持分法適用関連会社 (6社) ●国内会社 ●海外会社

- 株式会社デリカシェフ
- サンハウス食品株式会社
- ハウスウェルネスフーズ株式会社
- ハウス物流サービス株式会社
- 株式会社ハウス食品分析テクノサービス
- ハウスあいファクトリー株式会社
- サンサプライ株式会社
- ハイネット株式会社
- 朝岡スライス株式会社
- ハウスビジネスパートナーズ株式会社
- ハウスフーズホールディング USA Inc.
- ハウスフーズアメリカ Corp.
- 上海ハウス食品有限会社
- 上海ハウスカレーココ壺番屋レストラン有限会社
- 台湾カレーハウスレストラン株式会社
- 韓国カレーハウス株式会社
- ハウスオンサファフーズ株式会社
- ハウス食品(上海)商貿有限会社

- 株式会社ヴォークス・トレーディング
- 株式会社壺番屋
- サンヨー缶詰株式会社
- イチバンヤ USA Inc.
- 壺番屋香港有限会社
- 株式会社ジャワアグリテック

株式の状況

(2011年9月30日現在)

発行済株式総数 106,765,422株
発行可能株式総数 391,500,000株
株主総数 46,863名
1単元の株式数 100株

《2012年3月期配当金》

	1株当たり配当金
第2四半期末	13円00銭
期末(予想)	15円00銭
年間(予想)	28円00銭

大株主

(2011年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ハウス興産株式会社	12,585,616	11.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,542,700	8.00
株式会社HKL	6,000,000	5.62
株式会社三井住友銀行	3,668,027	3.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,955,500	2.77
財団法人浦上食品・食文化振興財団	2,872,200	2.69
浦上節子	2,731,569	2.56
味の素株式会社	2,693,543	2.52
日清食品ホールディングス株式会社	2,463,400	2.31
日本生命保険相互会社	2,318,210	2.17

(注)持株比率は、自己株式(2,045株)を控除して算出しております。

株主優待制度の変更と拡充のお知らせ

従来、年1回だった株主優待品の贈呈を年2回に変更します。(2012年6月上旬の贈呈より)

100株以上1,000株未満

[1,000円相当の詰合わせ]



1,000株以上

[3,000円相当の詰合わせ]



※写真は、2011年3月31日現在の株主さまに贈呈した株主優待製品です。

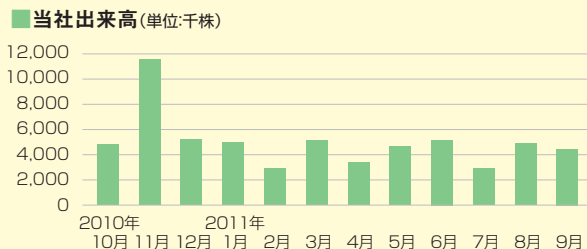
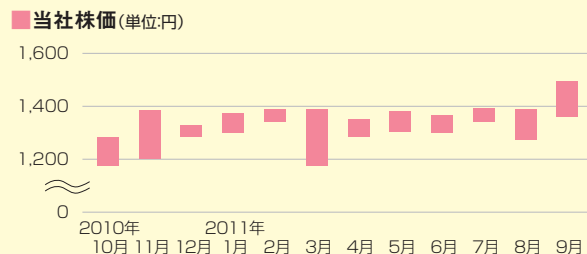
毎年3月31日および9月30日現在100株以上保有し、かつ3月31日および9月30日現在の株主名簿に2回以上連続で記載された株主さまが対象となります。

※2011年9月30日および2012年3月31日の株主名簿に連続で記載された株主さま(2012年6月上旬贈呈)より実施いたします。

株主メモ

- **事業年度** 4月1日から翌年3月31日
- **中間配当制度** あり
- **定時株主総会** 毎年6月開催
- **株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関** 住友信託銀行株式会社
大阪市中央区北浜四丁目5番33号
- **株主名簿管理人事務取扱場所** 住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
- **【郵便物送付先】**
- **【電話照会先】** ☎ 0120-176-417
- **公告の方法** 電子公告により、当社ホームページ <http://housefoods.jp> に掲載して行います。
ただし、電子公告を行えない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- **上場証券取引所** 東京・大阪
- **証券コード** 2810
- **ハウス食品株主さま窓口** ハウス食品株式会社 総務・法務部 総務課
〒577-8520 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号
電話 (06) 6788-1214

株価・出来高の推移 〈東京証券取引所〉



ハウス食品株式会社

〒577-8520 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号
電話 (06) 6788-1231 (代表)
<http://housefoods.jp>

○株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きのお問い合わせ先は、下記のとおりです。

証券会社の口座に記録された株式

【お手続き、ご照会の内容】

【お問い合わせ先】

- 単元未満株式の買取請求
- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更

口座を開設されている
証券会社

- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

住友信託銀行株式会社
証券代行部

☎ 0120-176-417

特別口座に記録された株式

【お手続き、ご照会の内容】

【お問い合わせ先】

- 単元未満株式の買取請求
- 特別口座から証券口座への振替請求
- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更
- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

住友信託銀行株式会社
証券代行部

☎ 0120-176-417

特別口座について

株券電子化実施(2009年1月5日)に際し、証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構(ほふり)に株券を預託されなかった株主さまのお名前、ご住所などのデータは当社が住友信託銀行に開設した「特別口座」に記録されております。



この報告書は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。